

学生のベスト・コメント

(39)

日本の強みのお話の中で、パチンコは他の国にはほとんどないというお話がありました。パチンコのような、機械のメカニズムが目に見えるものが日本人の興味をそそるものであり日本独特の文化だということがわかりました。そのような文化はパチンコ以外にどのようなものがありますか？

講師からのコメント

その他には「小さくまとめる」という点も日本の特色だということで「縮み志向」の日本人とまで言われます。その目に見える形は、単品としての「盆栽」であったり、複合製品である「幕の内弁当」ですが、この志向は、全体を小さくすることで、情報の伝送時間を短縮するという効果を通じて IT 産業の精度を高め、また「すり合わせ」能力を高めることを通じてエンジンの高性能化に貢献してきました。

これは、また世界最小のロケットの開発によるコストダウン、極小モーターの製造によるスマホなどの IT 機器の高度化、極めて細いために刺しても痛くない注射・縫合針などの製作などにつながっています。

世界の産業構造が、様々な制約の下に、「需要の拡大に応じた生産力増加」から「同じ便益をもたらすエネルギー消費の抑制を通じた需要削減」に動いていく中で、その先端を担う役割を十分に果たしうる素地となっています。

メカニカルなものへの関心、コンパクト化への熱望といったものが、機械への恐怖感を克服させ、近代工業化の促進を容易にしました。また、実際の「モノ」の製造、調整に携わる人たちから出て来る「改善提案」の多さという形で、製品精度の高度化を促し、またデザイン部門と製造部門との距離を近くすることを通じて、嗜好の変化への対応能力を維持して来ました。

しかし、だんだんコンピュータゲームのような、いわゆる「ブラック・ボックス」的なもののウェイトが高まり、すり合わせを重んじない「モジュラー型」の製品構造が主流になってくると、必ずしも、これまでの日本の長所が優位性をもたらさないことも多くなってきます。

文化的には、エンジニアに対する評価が高く「職人さん」へ十分な敬意を払うという点は、ドイツ語圏でのマイスターへの敬意とならぶ世界的には稀な現象です。

その他のヨーロッパ、アジアなどでは、この敬意が払われることなく、大学の工学部を卒業した工学士が本店に閉じこもり、現場の工場に出ていかないというのが普通です。これらがいわゆる近代化、工業化の隘路になっている国があることから言えば、日本はそれを容易に乗り越える素地があったと言えるでしょう。

以上